

2016年度

# 事業報告

2016年4月1日から

2017年3月31日まで

公益財団法人 神林留学生奨学会

## 1. 事業活動

### (1) 外国人留学生奨学金支給事業／活動、研究への助成事業

#### ①2016年4月27日(水)

選考・審査委員会開催。2016年度奨学生として大学院生15名の採用を決定（継続採用8名を含む—そのうち1名は半年）。同研究助成8件の採用を決定。

#### ②2016年4月29日(金)

採用者および大学宛に採用通知発送。研究助成採用通知発送。

#### ③2016年 4月1日～2017年 3月31日

2016年度奨学生15名に対し、各12万円を月々支給。（但し、4・5月分は5月に支給）（そのうち1名は4月～9月までの半年間支給）

2016年度研究助成 8件に対し5月に各50万円を支給、さらに11月に7件に対し残りの50万円を支給。年間合計750万円（50万円：1件 100万円：7件）となった。

#### ④2017年1月13日(金)

2017年度募集書類（推薦依頼）を指定大学（35校）宛発送。

### (2) 奨学生に対する奨学支援事業

#### ①2016年5月21日(土) 【支出合計額：273,009円】

「2016年度奨学生採用式」を開催。また、採用式終了後の歓迎昼食会では奨学生、研究助成者と財団役員の交流を図り、あわせて生活指導を行った。

（出席者38名）

#### ②2016年7月30(土)～7月31日(日)（1泊2日）【支出合計額：2,276,408円】

奨学生、研究助成者、財団役員を対象に夏季研修旅行「愛媛・広島1泊2日旅行」を実施。「ミウラート美術館」、「蜷川実花・山口晃道後アート展」、「原爆ドーム」、「平和記念公園」、「平和資料館」等、愛媛・広島の美術展や由緒ある施設を中心に、芸術と自然の調和を堪能し、平和について考えるよい機会となった。また、道後では「道後アートプロジェクト」主催者の講話を聴き、交流を深め、日本の伝統的な文化や芸術作品に触れる機会を得た。

なお、移動の車中や見学先で行動をともにしたことや、宿泊先での食事会等で、奨学生は国、地域、研究分野を超えて交流を深め、相互理解を促進できた。また、財団役員との交流を図るとともに、研究の相談や生活指導等も行った。

#### ③2016年9月30日(金)

奨学生の「エッセイ、小論文」、研究助成者の「研究中間報告」の提出締切。

奨学生の、日本と自国に対する思いや留学での関心事、研究内容等を把握する上で大変役立つ。同時に、生活指導の資料として貴重なものとなった。

④2016年12月4日(日) 【支出合計額：757,964円】

年末交流会を上野・精養軒で開催。奨学生、研究助成者、奨学生OBとその家族、財団役員が一堂に集い、相互交流を図り親睦を深めた。(参加者69名)

⑤2017年2月

奨学生に対し、卒業の可否、次年度の進級・進路予定等の確認を行った。

⑥2017年3月15日(水) 【支出合計額：170,149円】

2016年度奨学生「卒業報告会」並びに「卒業生お祝会」を学士会館で開催。卒業生からは、論文のサマリー発表を、進級者や研究助成者からはこの1年間の研究発表が行われ、互いの研究内容を知り、相互啓発、交流を図った。

(卒業生 博士2名(出席：1名)、修士1名(出席：1名))

⑦奨学生に、日本、アジアの文化芸術を学んでいただく目的で、次のイベントに参加した。同時に役員、奨学生の交流を図った。

1) 2016年5月23日(月) 【支出合計額：94,850円】

「外国人のための文楽鑑賞教室(曾根崎心中)」鑑賞(於、国立劇場)

2) 2016年9月20日(火) 【支出合計額：0円】

「能楽鑑賞講座 山姥」(於、アートコンプレックスセンター)

3) 2016年10月9日(日) 【支出合計額：121,663円】

「能・狂言(仕舞：笠ノ段、笹ノ段 狂言：月見座頭 能：山姥)」鑑賞

4) 2016年10月29日(土) 【支出合計額：68,160円】

「田大成テノールリサイタル」鑑賞(於、安養院 瑠璃光堂)

5) 2016年12月23日(金) 【支出合計額：43,200円】

「東京旋律音楽会」鑑賞(於、東京文化会館小ホール)

(3) その他 【支出合計額：39,044円】

奨学生OB尹虎氏、程希平氏の招待により、神林理事長と事務局の加茂が、3月5日から3月10日まで、中国の上海と昆明を訪問する。上海では奨学生OBの陳毅立氏(同済大学副教授)と懇談し、昆明では西南林業大学を訪問する。

## 2. 附属明細書について

2016年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

以上